第１０回　東京都在宅医療推進フォーラム

在宅医療・ケアの質を考える

鈴木内科医院
鈴木　央［東京都在宅療養診療所連絡会副会長］

東京都で在宅医療を選択することは、確実にハードルが下がったと思われます。都内のどの地域でも在宅医療を行う診療所を探せば、在宅医療を受けられるようになってきています。

しかし、課題は解決しているのでしょうか?
在宅療養支援診療所から提出された患者数や看取り数のデータを見ると、たくさんの訪問患者を持ちながらも、看取り数が伸びていない医療機関を見ることがあります。まだ何かできることがあるのでしょうか。

「夜間の発熱や疼痛に往診を依頼したが、病院を受診するように指示された」、「自宅で看取ること決めていたのに、ケアチームからは病院に行ったほうがいいとアドバイスされた」といった声はまだまだ聞こえてきます。それぞれのケースにそれぞれの事情や考え方があったとは思いますが、満足度が低かったのは確かかもしれません。

それでは患者の満足度だけが、在宅医療の質なのでしょうか?

これも考えさせられる問題です。必要な医学的、倫理的判断や適切な医療の提供がなされていなくとも、質が高いといえるのでしょうか。説明と話し合いの結果、家でも看取りたいとの意思を受け、苦痛を緩和する医療を行い、最期を看取ること、これは決して質の低い医療ではありません。しかし、病態を認識せず、苦痛へのケアも行わず、老衰だから仕方のないことと看取りのみを行っていたとすれば、医学的判断に課題があるのは確かです。また逆に、入院が必要と判断し、本人や家族の気持ちを顧みることなく入院させたとすれば、これも倫理的に質が低いといえるのかもしれません。

他の職種からも考えてみましょう。

在宅ケアチームとして質が高くなるような試みとは何でしょうか。地域で患者のために多職種のケアチームが一丸となって提供できる在宅ケアとは、どういったものであるべきなのでしょう。介護保険導入後、もうすぐ20年の節目を前に、今日はこんなことを皆で語り合う日にしたいと思います。

ご注意事項

本会へのご参加には、
事前申込みが必要となります。
お申込み確認後に参加票を
返送いたします。

FAX

FAXでのお申込みは下記参加申込書にご記入の上、お送りください。

03 3235 7330　切り取らずにそのまま送信ください。

WEB

**WEBでのお申込みは下記QRコードから
お申込みフォームへアクセスしてください。**

https://ssl.form-mailer.jp/fms/b39877e7584769

第10回 東京都在宅医療推進フォーラム　参加申込書

【宛先】第10回 東京都在宅医療推進フォーラム 実行委員会事務局 行

お名前	フリガナ	性 別	□ 男性　□ 女性
職 種			
ご所属機関名			
ご住所	〒　　－		
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			

※本申込みの個人情報は、本事業実施に関すること以外には一切利用いたしません。